

社会福祉法人せきれい会 令和6年度事業報告

保育園 定員 本園 保育園部105名 幼稚園部15名 分園(未満児)20名 合計140名

【職員の状況】

職 名	令和 7年4月1日 の職員数					年間退任・就任										
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正規 職員		有期契約職員								計
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B				契約職員		非常勤A		非常勤B				
						就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
園長	1				1											
副園長	1				1											
主幹保育教諭	2				2											
副主幹保育教諭	2				2											
保育教諭	20			7	27		1							2	3	
保育補助	0				0		1								1	
栄養士(兼調理員)	3				3		1								1	
調理士	1			1	2											
運転手				2	2								2	1	3	
添乗員				1	1									1	1	
清掃員				3	3									0	0	
警備員				1	1									1	1	
学校医				1	1											
学校歯科医				1	1											
学校薬剤師				1	1											
計	30	0	0	18	48	0	3						2	5	10	

* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

職員の年間就任及び退任については 3月末で正規保育教諭 1名、非常勤保育教諭 2名の退職がありました。また、年度途中、育休復帰の職員が1名ありました。厨房については3月末で常勤栄養士1名の退職がありました。また、年度途中で栄養士1名の育休復帰がありました。保育補助職員1名が12月末で退職致しました。 非常勤職員については年度途中で非常勤の運転手1名、警備員1名の退職があり、同じく非常勤の運転手1名、警備員1名の採用がありました。3月末で添乗員1名の退職がありました。

令和7年度4月については、常勤保育教諭2名の新規採用及び育休復帰者3名、常勤管理栄養士1名を加え、上記の職員数になります。

【施設運営状況】

入所状況については、本園については配慮の必要な子どもが多いので、4歳児、5歳児クラスで受け入れを制限し、4歳児クラスにおいてはクラスで過ごすことが難しい子どもが複数在籍するため、非常勤職員を1名配置し、安心して園生活を送れるよう工夫しました。

分園については職員の育休復帰待ちで入所希望者がありましたが断らざるを得ませんでした。また、復帰予定の職員3名の子どもの保育園入所が出来なかったため、受け入れを制限し続けたため、年間通して90%弱の入所率となりました。職員配置的には育休復帰予定の職員の育休が延期になっても、十分できる余裕がありましたが、配慮が必要な子どもの保育を行うために保育教諭の加配が必要なため、分園0歳児の受け入れを制限しました。

分園の定員通りの受け入れが本園分園合わせての入所率についてはほぼ定員通り100%になりました。

特別な配慮の必要な子ども及び保護者についてはそれぞれの特性に合わせ、クラスで過ごせない子どもについては別室で個別に対応する、介助の必要な子どもについても個別に対応するなど、職員を十分に配置し、安全安心に過ごせるよう努めました。デイサービスや療育センターを利用している子どもについては関係機関と密に連携を取り、情報旧友に努めました。それぞれ個別計画を立て、職員間で共有を図りながら保育及び教育にあたりました。

※各種行事について

夏の水遊びについては気温や熱中症計の数値を見ながら6月ごろから行いました。テントを立て、日陰の中でシャボン玉や水鉄砲、すくいものなどを使った水遊びを行いました。

未満児については氷遊びやでんぷんなどの感触遊びなども行い、子どもたちは十分楽しめるよう工夫を行いました。

夏祭りについては、2歳児から5歳児各クラスで話し合いそれぞれ工夫を凝らし、お店屋さんごっこを行いました。異年齢でペアを組み、おみせやさんとお客さんに分かれ自由に楽しむスタイルをとりました。5歳児クラスは他のクラスのお店の看板やPOPなども作成し、「夏祭りのお約束」を自分たちで話し合い、掲示物も作成し、夏祭り開催の際に参加する子どもたちや職員の前で発表を行いました。子どもたち(特に5歳児)主導のよい活動になったと感じています。

運動会については、日岡山体育館で行いました。5歳児全員による開会宣言からスタートしました。話す内容や順番などを子どもたちが話し合い、選手宣誓、注意事項の説明など役割分担して行うことができました。演技の内容などについても自分たちの意見を出し合い、作り上げていきました。自分たち主体の活動ということで、保護者の方やお客様にはよく見ていただきたいという気持ちにあふれていた5歳児さんたちは本当に楽しそうに生き生きと活動していました。大勢の前で堂々と司会をしたりする子どもたちの姿に保護者の皆様は驚きとともに成長を感じ喜んでいただけました。

生活発表会についてはそれぞれの出し物について子どもたちが話し合い出し物を作り上げていきました。

4歳児のクラスは配慮が必要な子どもが多く、どのような形でクラス全員が参加できるかが大きな課題でしたが職員全員で話しあい、試行錯誤し、それぞれの夢について披露することになりました。また、それぞれの夢に合わせて、自分たちで衣装を作りファッションショー形式で披露しました。お客様の前でそれぞれが堂々と自分の夢について話す姿を見て職員も保護者の方も嬉しく頼もしく思いました。

5歳児は金のガチョウの劇を自分たちでアレンジして披露しました。「誰がくつついたら面白いと思う？」という担任の問いかけに、桃太郎、赤ずきん、ハンバーガーやさんなど、様々な登場人物といろいろな会話

をし、それぞれダンスも披露しました。ダンスの曲や振り付けも自分たちで考えました。奇想天外な内容に保護者の皆様も引き込まれ、楽しい劇になりました。

3月のお別れ遠足では5歳児さんは姫路セントラルパークに行きました。色々な動物を間近で見、キリンに餌やりをし、楽しい一日を過ごしました。3歳児、4歳児さんはそれぞれ近くのであいい公園に行きました。

卒園式は保護者2名の参加という形で5歳児のみで行いました。ひとりずつ卒園証書を受け取った後、壇上で一年間楽しかったこと、小学校で楽しみにしていることを発表しました。一年間を通し、大勢の方の前で自分の意見を述べることに自信を持ち、楽しんで発言できるようになった子どもたちは、本当に堂々と自分の思いを伝えてくれました。子どもたちの素晴らしい成長を改めて実感し、頼もしく嬉しく感じました。

年間を通じ、その時々の子どもたちの興味をとらえ、活動が広がり発展していくよう援助を行いました。子どもたちが好きな虫や小動物の飼育を継続して行い、成長の過程を経験し、慈しみの心や命の大切さについて体験することができました。園庭で育てた豆を収穫し、鞘を剥いて中を観察したりしました。豆の種類によって花や鞘に違いがある事に気づき、ワクワクしながら鞘を剥く姿が見られました。また、長年育てていたバナナに花が付き、少しずつバナナの形に育っていく様子を毎日興味深げに観察していました。残念ながらバナナの実は熟さなかったので食べることはできませんでしたが、みんなで皮をむいて匂いを嗅いだりして楽しみました。

一年を通し、5歳児についてはそれぞれの活動内容について子どもたち同士で立案し話し合い、役割を決めて実行に移すという形がしっかりとできていたように思います。自分たちのやりたいことを明確に持ち、言葉にして伝え、実行するためにはどうしたらよいか考え、運営を行うという姿が一年を通し育っていきましました。

職員の資質向上として、積極的に園内、園外研修に参加し、得た知識を共有しました。

【分園について】

入所状況については0歳児の受け入れ制限を行ったため、0歳児の入所が少なくなりました。人数が少ない分、落ち着いて丁寧にかかわることができたと思います。天気の良い日は積極的に本園の園庭で遊んだり、カートでお散歩に行きました。戸外で十分に身体を動かして遊んだり、自然に触れ季節を感じる機会が多く持てたと思います。

【その他】

延長保育事業・障害児保育事業・乳幼児子育て支援事業サービスを提供しながら、保護者の就労支援に努めました。

配慮が必要な子どもについては、それぞれの支援計画について毎月の会議で話し合い、それぞれの子どもの状況について情報を共有しました。また、デイサービスや療育センターを利用している子どもたちについては、各機関と連携をとり、それぞれが安心して過ごせるよう努めました。

利用者サービスの改善に向けて、毎月1回 ヒヤリハット事例の検討会、配慮の必要なこどもの個別支援計画会議、けいれん発作などのある子どもの健康面についての共有及び、計画の見直しや改善をはかっていきました。

月案、指導計画については子どもたちの様子をもとに職員会議で情報共有しながら柔軟に計画の変更を行いながら従前の活動を積極的に取り入れてきました。

月に1度の食育会議においては、アレルギー児の現状を報告し、職員同士で共有し、安全に努めまし

た。

子育て応援事業については、従前どおりの活動を行いました。まだまだ以前に比べると利用者が少ないですが、楽しんでいただける活動を工夫していきたいと考えています。

【利用者支援状況】

オープンスクールや参観、インスタやブログなどを通じ、子どもたちの育ちを保護者と共有するように努めました。また、前述の活動などを通じ、保護者が悩みなどを相談しやすい関係を気づいていけるよう努めました。個人情報保護の観点から、インスタについては承認制とし、保護者のみが閲覧できるような状態で配信を行っています。

【施設整備状況】

- ・屋上に目隠し兼日よけを付けました。
- ・2階底について防水加工を行いました。

【年間利用状況】(各月月初人員)

本園保育園部

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
0歳児	3	3	3	4	4	4	4	5	6	6	6	6	54	4.5
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	12
2歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288	24
3歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300	25
4歳児	24	24	24	24	24	24	24	23	23	23	23	23	283	23.6
5歳児	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276	23
計	111	111	111	112	112	112	112	112	113	113	113	113	1345	112
定員比%	1.05	1.05	1.05	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06	1.07	1.07	1.07	1.07	1.06	1.06
幼稚園部														
3歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
4歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	4
5歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
計	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168	14
定員比%)	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93
幼、保 合計数	125	125	125	126	126	126	126	126	127	127	127	127	1513	126
定員比%	1.04	1.04	1.04	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05

分園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
0歳児	4	4	5	6	6	6	6	6	6	6	8	8	71	5.9
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	12
計	16	16	17	18	18	18	18	18	18	18	20	20	215	17.9
定員比%	0.8	0.8	0.85	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1	1	0.89	0.89

施設定員合計(本園保育園部 105 名 幼稚園部 15 名 分園 20 名) 計 140 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計	平均
保育園	127	127	128	130	130	130	130	131	131	131	133	133	1580	132
幼稚園	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168	14
計	141	141	142	144	144	144	144	145	145	145	147	147	1729	144
定員比%	1.00	1.00	1.01	1.02	1.02	1.02	1.02	1.03	1.03	1.03	1.05	1.05	1.02	1.02

【主 な で き ご と】

	行事	その他	子育て支援 内容
4 月	6 日 入園式・始業式 1学期開始 24 日 お誕生日会 食育の話	冬服 お誕生会・避難訓練・食育の話 体育指導(2～5歳児) キッズダンス(3～5歳児) スイミング(4. 5歳児) そろばん(5 歳児) 英会話(3～5歳児) クッキング(4 歳児・5 歳児) 以上 毎月活動	食育講座 ベビーダンス キッズダンス ふれあい体操 貸出図書
5 月	2日 こどもの日 9日 内科検診 22日 5歳児園外保育 24日 ファミリーデー 28日 お誕生日会 食育の話 29日 入園記念写真 30日 歯科検診 31 日 4歳児園外保育	毎月活動 ペチュニア苗植え 合服衣替え	食育講座 ベビーダンス キッズダンス ふれあい体操 貸出図書
6 月	水遊び・どろんこ遊び開始 3日 とらいやるウィーク 4日 3歳児園外保育 11日・12日 オープンスクール(4.5) 26日 お誕生会 28日 3歳児保育参観	毎月活動 夏服衣替え トマト苗植え	食育講座 ベビーダンス キッズダンス ふれあい体操 貸出図書
7 月	2日 5歳児プラネタリウム 3日 2歳児保育参観 5日 セタまつり めだか劇団 31日 お誕生会・避難訓練・食育の話	毎月活動 トマト収穫 幼稚園部夏休み (22日から26日)	食育講座 ベビーダンス キッズダンス ふれあい体操 貸出図書

8 月	5日6日 夏祭り 20日 1歳児参観 28日 お誕生会・避難訓練・食育の話 29日 0歳児参観	毎月活動 ALT トマト収穫 幼稚園部夏休み 13日から16日	食育講座 ベビーダンス キッズダンス ふれあい体操 貸出図書
9 月	2学期開始 11日 4歳児プラネタリウム 17日 お月見会 20日 敬老の日お招き会 25日 お誕生会・避難訓練・食育の話	毎月活動	食育講座 ベビーダンス キッズダンス ふれあい体操 貸出図書
10 月	2日 分園0歳児参観 3日 本園0歳児参観 8日 カレークッキング5歳児 26日 運動会 28日 5歳児 お芋ほり 31日 お誕生会・避難訓練・食育の話 ハロウィン 31日 園医検診	毎月活動 合服衣替え おはようでい	食育講座 ベビーダンス キッズダンス ふれあい体操 貸出図書 ハロウィンパーティ
11 月	5日 絵本読み聞かせ 25日 シェイクアウト訓練 27日 お誕生会・避難訓練・食育の話	毎月活動 冬服衣替え	食育講座 ベビーダンス キッズダンス ふれあい体操 貸出図書
12 月	4日～6日 オープンスクール 18日 ジャッキーキャラバン 19日 3歳児プラネタリウム 23日 クリスマス会 お誕生会・食育	毎月活動 2歳児～5歳児 保育参観 幼稚園部冬休み 24日から1月6日 休園 29日から1月3日	食育講座 ベビーダンス キッズダンス ふれあい体操 貸出図書
1 月	3学期開始 22日 生活発表会予行 29日 お誕生会・避難訓練・食育の話	毎月活動	食育講座 ベビーダンス キッズダンス ふれあい体操 貸出図書
2 月	3日 節分豆まき 13日 生活発表会 26日 お誕生会・避難訓練・食育の話	毎月活動	食育講座 ベビーダンス キッズダンス ふれあい体操 貸出図書
3 月	3日 雛祭会・誕生会 6日 LaQ博士イベント 11日 5歳児お別れ遠足 姫セン 20日 修了式	毎月活動 入園前説明会 幼稚園部春休み21日から	食育講座 ベビーダンス キッズダンス ふれあい体操 貸出図書

(その他) 月曜 園庭解放 水曜金曜 子育て相談

【その他について】

① 安全管理

○ 健康管理 園児・職員の定期診断及び厨房職員の細菌検査を毎月実施した。

園児には毎月健康チェック表を配布し、毎日の体温及び健康チェックを記入して頂くとともに園で朝、午後の体温チェックを行っている。

○ 衛生管理 遊具の点検を毎朝行うとともに、施設の衛生管理についての点検整備を行った。

大型遊具等の安全点検はチャイルド社に委託し、年二回の点検を行った。

○ 安全管理 登降園の際の交通安全について、警備員による駐車場の見守り、安全確認を行った。

交通安全について園児と話し合うとともに保護者へ文書を配布し協力をお願いした。駐車場の利用についても同様に行った。

② 地域交流

敬老の日お招き会 ユニット活動のおはようデイ、ALT、絵本の読み聞かせを行った。

③ 実習生・ボランティア

保育実習2名、栄養士実習1名 受け入れ。

【研修会実施状況】

キャリアアップ研修については、オンライン開催が行われたので、予定通り参加することができた。今年も園内研修について各クラスのエピソード記述及びドキュメンテーションの発表に力を入れ事例検討を行い、毎週玄関に掲示した。
個別指導計画を適宜見直し、必要に応じて内容を検討した。

【 法人事業苦情内容及び結果の公表 】

	主な苦情内容	対応及び解決方法
電話 7月18日	・食事の際に、早く食事を食べ終わり違うグループの園児と話していたので、おかわりはダメと言われた。また、スプーンやお皿をなめていたためおかわりはダメと言われた。 おかわりの列に並んでいたのにダメと言われ、吐くほど泣いていたのにお代わりをもらえなかったと子どもが言っている。 製作の際に画用紙を振り回し鉄を自分の首にあてていたので注意されたらしい。していることは危険なので注意されることは当然だが、大泣きしている息子をそのままにして、次の説明をしていた。 本人はうまく説明できないので相手に伝わらないと思い泣くばかりである。 罰を与えるということは虐待に当たるのではと考え市に問い合わせをした。 話を聞く限りでは虐待には当たらないと思うが、心配ならば信頼できる職員に相談してみてもはと言われ、副園長に相談をした。 うちの子に加配をつけることはできないか。職員が足りないため加配をつけられないのか。クラスにいる配慮が必要な子全員に加配を付けたらどうか。	母親に対し、不安な気持ちを抱かせてしまったことを謝罪するとともに、原因はこちらの対応についてご家庭に十分説明をしていなかったことが原因であることをお伝えした。 お皿をなめていたことや、鉄を首にあてていたことについては担任から報告を受けており、対応について、本児と丁寧にかかわるよう話をしていると説明を行った。 本児については、アレルギーがあるため、誤食を防ぐため、他児と一緒に代わりをすることはせず、最初から大盛りで食事を提供していることをお伝えした。 食事量については十分満足できる量ではあるが、本人の「おかわりしたい」という気持ちに寄り添えていなかったことを謝罪し、給食室と話し合い、アレルギーに対し十分に配慮した上で、食事を山盛りにするのではなく、おかわりを毎日用意し、いつでもおかわりができる環境の中で落ち着いて食事をできるようにしていきたいとお伝えした。 加配については、1人ずつにつくことはできないが、活動内容に応じ、また必要に応じてフリーの職員が付いていることを説明し納得いただいた。
降園時 直接お話し		お迎えに来られた保護者に 副園長から、色々な事柄について急ぎすぎた(しつけ面)ことについて改めて謝罪し、ゆっくりと本児のペースに合わせて前向きな言葉がけを行いながら進めていきたい旨改めて説明した。 また担任から、食事、製作いずれも大泣きするという状況を心配されていることについて、気持ちの切り替えが難しいお子様ではあり、4歳児だからという思いで、すべての子どもに同じように対応していたが、焦らずゆっくり見守りながら前向きな声掛けを行っていくとの説明と、本児の対応について言葉が足りなかったことなどについて

バスの運転について(電話) 3月5日 午前9時20分頃	通園バスが信号で高齢者マークを付けた車が右折しようとしているのにうるさくらいクラクションを鳴らした。 ずっと後ろを走っていたが、狭い道で当然のようにハザードつけてバックした。まるで自分が優先のように運転するのはいかなものか。 ドライブレコーダーを確認すればわかるはずであるので確認をし、指導を行え。	て謝罪を行い納得いただいた。 話を直接お聞きする中で、「息子が泣いている姿がインスタに映っていたので心配になった。」というお話をお聞きした。 動画や写真配信をする際、保護者が心配されるような場面が映り込んでいないか十分気を付ける必要があると感じ、全職員間で共有した。 担任には改めて、母親から聞き取った内容について伝えた上で、本児だけでなく、すべての子どもたちの気持ちに寄り添い、言葉で伝えにくい子どもについては気持ちを代弁するなどし、丁寧なかかわりを行うよう指導するとともに、その日にあった、出来事についてきちんと保護者に伝えるとともに、原因や園での対応についてしっかりと説明することが大切であると伝えた。 とりあえず、状況についてお知らせ頂いたことについてお礼を述べ、事実については確認しますと伝えた。 まず添乗員に状況確認を行ったがそのような事実はないとの事で、ドライブレコーダーの画像も確認したが何か問題になるような場面は一切なかった。 電話を受けた際、相手が「おたくには日産のハイエースのバスはありますか」と言ったような、曖昧な状況の中でのクレームで違和感を感じながら対応を行った。 いずれにしても、高齢者に道を譲る、バックなどの際には周囲の車に頭を下げるなどなど指導しているが、再度改めて運転手及び添乗員にも周知した。
--	--	---